

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「夢 (gift) を明日へ  
つなげよう」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「ロータリーは親睦と  
奉仕の融合」



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度

国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン  
2560地区ガバナー 山本 和則  
高田ロータリー会長 水上 喜芳  
幹事 大島 誠

事務局:新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場: デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
田中 正人 小熊 貞良 栗田 修行  
笠谷 吉春 小林 豊茂 霜村 浩

## 第14回例会 ■ 10月9日(金)

No.14

### 会長挨拶 ● 水上 喜芳



皆さんこんにちは。

先週開催しました当クラブの60周年式典、皆様のご協力大変ありがとうございました。

お陰様で、高田ロータリーらしく大変立派に行う事が出来たと思っています。

式典に関連した報告を2件、致します。

最初は上越市社会福祉協議会から、寄付に対するお礼感謝状が届きましたのでご紹介します。

また、中條パストガバナーから手紙が届いていますので、その一部を、ご紹介させていただきます。

『流石に、伝統と歴史を誇る、高田クラブさん、久しぶりに感動し、またいろいろな趣向に感心したりと思い出に残る60周年でした。特に式典の運び方は、お見事でした』と言うメッセージを頂きました。

改めて、高田ロータリークラブの厚みと言いますか重みを実感しました。

さて今月のロータリー特別月間は『米山月間』と『経済と地域社会の発展月間』となっています。

また来月は『ロータリー財団月間』となっています。

2カ月連続で皆さんの小遣いを減らしてしましますが、ご協力よろしくお願ひします。

今日の卓話は、会員卓話で小林豊茂さんからお話を頂きます。

### 出席報告

出席率 100%

### メイクアップ

大島精次君・東山昶也君・水上喜芳君・遠藤 巖君・福田 聖君・羽深耕時君・橋本眞孝君・栗田修行君・三井慶昭君・宮澤英文君・大谷光夫君・佐藤憲二君・高橋俊宣君・渡邊 隆君・伴 長門君・藤林陽三君・羽深元悟君・橋詰敏一君・堀井靖功君・石田誠夫君・石倉 悟君・岩崎幹男君・加藤卓也君・勝俣万亀男君・小林 元君・小林幹央君・小林豊茂君・高坂光一君・久保田健君・箕輪賢一君・本山秀樹君・中田 正君・小熊貞良君・大島誠君・大沼公成君・齊藤光雄君・齋藤尚明君・酒井一成君・佐藤信明君・佐藤教彦君・佐藤芳徳君・澤井祥典君・霜村 浩君・助川 毅君・チャールズ・C・ストラットン君・高橋正彦君・田中正人君・山田 守君・横山修一君 (10/ 3(土)高田 RC 創立60周年記念式典)

牧野章一君 (10/ 3(日)第16回 RA アジア第1ゾーン代表者会議)

東山昶也君 (10/ 9(金)ガバナー指名委員会)

### セレモニー

10月の会員誕生日 各お祝い

高田 RC60周年記念

永年在籍会員・歴代会長・幹事 感謝状贈呈

## 委員会報告

出席ニコニコBOX委員会

橋本眞孝君——この度の記念事業で頂戴したご浄財は地域福祉の為に大事に使用させていただきます。有難うございました。

大島 誠君——本日、新しい情報誌「まるごと上越」を創刊いたしました。無料で上越地域全戸に宅配いたします。

親睦委員会

10月16日「月見の会」於：長養館

米山奨学委員会

米山奨学会への協力要請

## 会員インフォメーション

堀井靖功君——前島密関係イベントのご紹介

大島 誠君——「まるごと上越」創刊のご紹介

## 幹事報告

配布物：週報No.13

## 創立60周年式典・祝賀会盛會裏に終わる

当クラブの創立60周年記念式典は、10月3日(土)デュオ・セレッソを会場に多数の方々にご臨席をいただき開催され滞りなく終了しました。詳しくは記念誌にてご報告いたします。



## 卓話

## 善光寺御開帳と北陸新幹線延伸の効果について

小林 豊茂 君



今日は今年の春開催された善光寺の御開帳の様子について、北陸新幹線の金沢延伸の影響も交えて少しお話ししたいと思います。

まず、今年の善光寺御開帳の概要についてですが、期間中(4/5~5/31)の参拝者数は707.1万人と前回に比べ34.7万人多く過去最大の人出となりました。これは回向柱の夜間ライト・アップ、長野駅や参道の整備の影響もあったと思いますが、なんといっても北陸新幹線延伸の影響が大きかったものと考えられます。

これを参拝者の居住地別のデータで見ますと、参拝者の約7割は県外客となっています。関東地方を中心に、新潟・北陸、東海、関西等の広範囲から来ていますが、北陸新幹線延伸による影響で新潟・北陸方面からの参拝者が大きく増加しています。その交通手段をみると、相変わらずマイカーが約半分を占めていますがその割合は低下しており、また団体バス利用も減少する一方で、新幹線利用者が大きく増加しています。特に、関東や北陸方面からの参拝客ではその3割前後が新幹線を利用しており、北陸新幹線延伸の影響を受け、新幹線がマイカーに次ぐ交通手段の一つになっている様子がみてとれます。

また、参拝者の周遊先(善光寺参拝の前後でどこを訪れたか)を見ますと、須坂・小布施方面、戸隠・鬼無里など善光寺周辺の観光地が最も多く

なっていますが、松本、上田も人気が高くなっています。こうした地域はマイカー、団体バスが中心と思われそうですが、上越・妙高、金沢・富山なども上位となっておりここにも新幹線延伸の影響がみられます。

次に、観光地にいくらお金が落ちたかという観点から一人当たりの消費単価をみますと、「周遊なし」と答えた人の平均消費単価(交通費、宿泊代は除く)が2,370円(飲食費1,270円、土産代1,100円)だったのに対し、「周遊先1カ所」の場合は5,634円(飲食費2,839円、土産代2,795円)と約2.4倍になっており、消費額を増やしていくためにも多くの周遊先と連携していく必要は大きいものと考えられます。また、この点を御開帳の経済効果で見ますと、経済波及効果は総額で1,137.3億円と試算され、単純に参拝者一人当たりで見ると約16,000円となります。このうち平均消費額は日帰り客5,929円、宿泊客25,501円となっており、宿泊を伴うことで日帰り客の5倍近いお金が地域に落ちることになります。

このように、今年の善光寺の御開帳では様々な面で新幹線開業の影響がみられました。今後はこの効果を如何にして地域で生かしていくか、観光の面では如何に周遊に結び付け、宿泊客の増加により地域にお金が落ちるシステムを作るかが課題だと思えます。